

目 次

第1編 今すぐ使える！学校（園）における固定遊具の事故防止対策資料 1

- I 固定遊具の事故防止のポイント
- II 『遊具の安全』ワークシート ～遊具別安全教育のポイント～
- III 遊具別安全管理のポイント
 - 1 鉄棒
 - 2 ぶらんこ
 - 3 シーソー
 - 4 回旋塔
 - 5 すべり台
 - 6 ジャングルジム
 - 7 雲てい
 - 8 登り棒
 - 9 総合遊具・アスレティック

第2編 調査研究の趣旨と経過

- 第1章 学校災害防止調査研究委員会及び専門部会の設置 26
 - I 設置の趣旨
 - II 組織
 - 1 委員構成
 - 2 委員会委員
- 第2章 調査研究のテーマ設定と経過 28
 - I 調査研究のテーマ設定
 - II 調査研究の経過

第3編 学校における固定遊具事故の現状分析と事故防止対策の実状

第1章 災害共済給付データを活用した固定遊具事故の現状分析	32
I はじめに	
II テキストマイニングを用いた状況データ分析（状況リスク比分析）	
III 分析結果の例	
第2章 固定遊具の設置状況調査と事故防止対策の取組	36
I 設置状況調査	
1 調査概要	
2 調査結果	
II 固定遊具の事故防止対策の取組	
1 実状調査の実施概要	
2 小学校の固定遊具の事故防止対策の実状	
3 幼稚園の固定遊具の事故防止対策の実状	
4 幼保連携型認定こども園・保育所等の固定遊具の事故防止対策の実状	
5 新型コロナウイルス感染症防止に向けた取組事例の紹介	

第4編 学校における固定遊具の事故防止のための留意点

第1章 安全教育と安全管理の意義と重要性	96
1 学校安全の体系	
2 固定遊具の安全に対する考え方	
3 安全管理の法的根拠と実際	
4 幼児、小学生への安全教育	
第2章 固定遊具の安全教育、安全管理の留意点	101
I 安全教育、安全管理の留意点	
1 小学校	
2 幼稚園	
3 幼保連携型認定こども園・保育所	

資料編 学校における固定遊具の事故統計データ及び参考資料

第1章 学校における固定遊具の事故事例（死亡事故、重大事故等）	118
I 死亡事故事例（死亡見舞金：平成26～30年度）	
II 障害事故事例（障害見舞金：平成26～30年度）	
第2章 学校における固定遊具の基礎データ1	125
I 小学校	
II 幼稚園	
III 幼保連携型認定こども園・保育所等	
第3章 学校における固定遊具の基礎データ2（協力：東京工業大学）	140
I 分析に使用したデータ	
II 分析手法の説明	
III 分析結果	
1 図の見方	
2 鉄棒（小学校 6,549件）	
3 鉄棒（幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 1,482件）	
4 ぶらんこ（小学校 2,217件）	
5 ぶらんこ（幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 581件）	
6 シーソー（小学校・幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 358件）	
7 すべり台（小学校 1,859件）	
8 すべり台（小学校・幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 1,966件）	
9 ジャングルジム（小学校 1,960件）	
10 ジャングルジム（幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 684件）	
11 雲てい（小学校 2,894件）	
12 雲てい（幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 1,128件）	
13 登り棒（小学校・幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 973件）	
14 固定タイヤ（小学校・幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 1,518件）	
15 砂場（小学校 1,022件）	
16 砂場（幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 1,265件）	
17 総合遊具・アスレティック（小学校 1,793件）	
18 総合遊具・アスレティック（幼稚園・幼保連携型認定こども園・保育所等 1,800件）	
第4章 その他	152
I 都市公園における遊具等の設置状況	
II 固定遊具の事故防止対策に関する指針・諸通知等	
1 文部科学省	
2 国土交通省	
3 消費者庁	
III 遊具履歴書	
IV 固定遊具の安全に関する表示	
1 SPマーク	
2 安全利用表示	
V パンフレットの紹介	

第 1 編

今すぐ使える！

学校（園）における

固定遊具の事故防止対策資料

第1編 今すぐ使える！学校（園）における固定遊具の事故防止対策資料

I 固定遊具の事故防止のポイント

安全教育のポイント

（遊具別 P.4～）

- ① ルールや順番を守るよう指導する
- ② 遊具が濡れているときは遊ばないよう指導する
- ③ 荷物を持ったり、引っかかるものを身に着けたりしたまま遊ばないよう指導する
- ④ 危険な行動については、その場で改善を指導する
- ⑤ 新学年や新学期ごとに、遊具の安全な使い方を確認する
- ⑥ 遊具に潜む危険な箇所や危険な使い方を理解するよう指導する
- ⑦ 危険な箇所があったときは回避し、大人に伝えることができるよう指導する
- ⑧ 遊具を安全に使用することの大切さを理解し、進んで安全な行動が出来るよう指導する

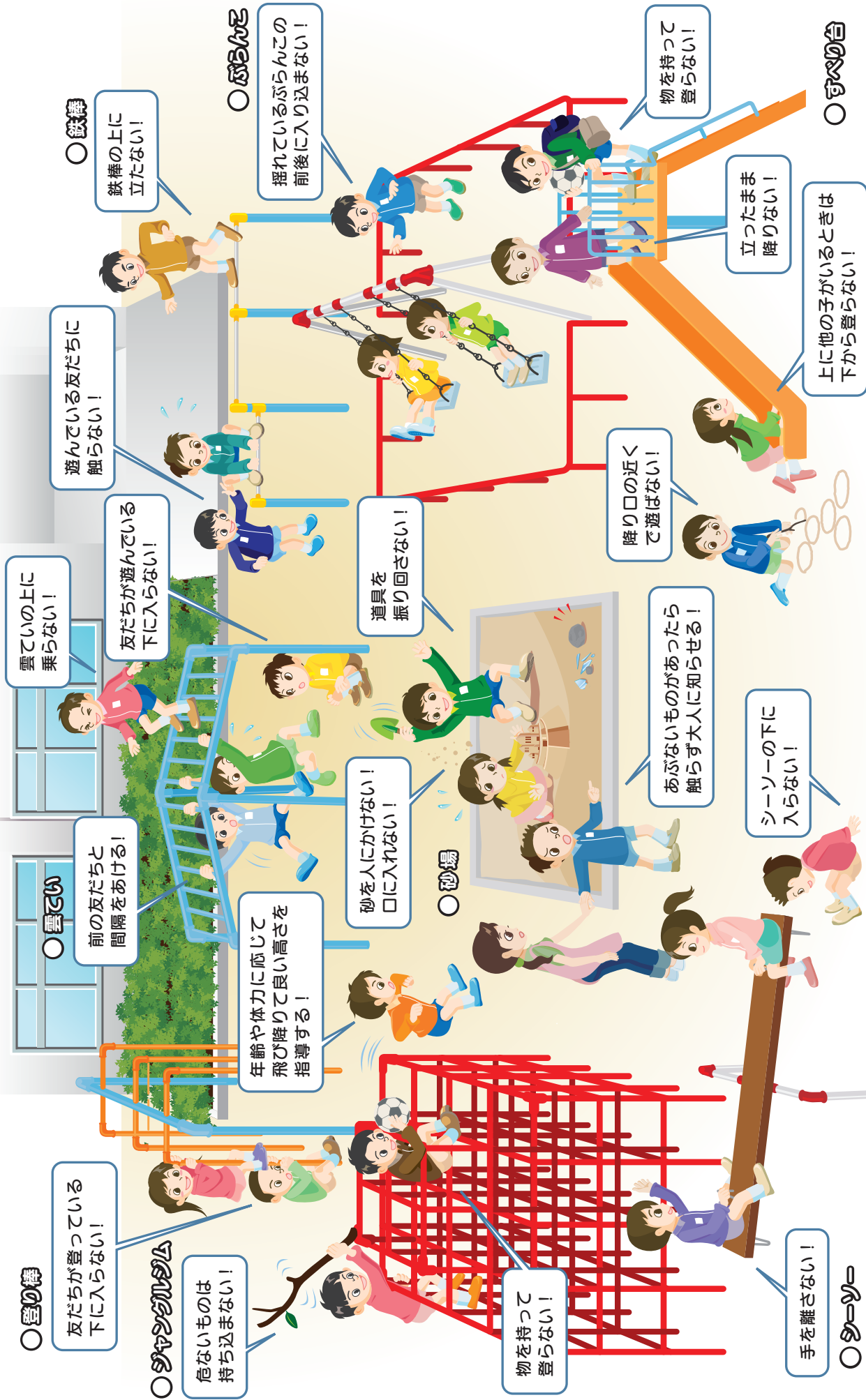
安全管理のポイント

（遊具別 P.6～）

- ① 点検は定期的・継続的・組織的に行う
- ② 遊具の使用法、危険箇所を発見したときの対処方法、事故が起きた場合の対応をマニュアル化し、共通理解を図る
- ③ 遊具の設置面に、落下等に備えた安全対策をする
- ④ ぐらつきや錆は取り除く
- ⑤ 引っかかりや絡まりを起こす部分は取り除く
- ⑥ 怪我をした子供を救助するため、大人が入れるようにする。
- ⑦ 他の遊具との距離をとり、周囲に十分な空間をつくる。
- ⑧ 見通しの良い場所に設置する
- ⑨ 遊具の周りの危険なものは取り除く
（石、ガラス、木の根、地面の凸凹等）
- ⑩ 安全柵、落下防止柵を設置する

～遊具別安全教育のポイント～

小さな子供たちほど、周りの状況をよく把握せずに自分の遊びに夢中になるため、他の子供や遊具との衝突、遊具からの落下など、不注意からくる事故に遭う場合が多くなります。そのため、固定遊具で遊ばせる上で、遊具の安全点検とともに、子供たちの発達や遊び方に応じた遊具ごとの安全教育が重要となります。ルールを守って楽しく遊び、遊びを通じて心身の能力を高められるよう指導しましょう！



「遊具の安全」ワークシート

～遊具別安全教育のポイント～

吹き出しのところに、遊具の事故の危険が隠れているよ。どんな危険があるか考えてみよう！！
それぞれの遊具の危険なポイントを理解した上で、思い切り楽しく遊ぼう！！

